

柔道競技の部

1. 日 時 令和2年11月7日(土)【予備日 8日(日)】

男女個人戦

8:00 ~ 開場(選手集合・準備)
8:30 ~ 9:00 計量
9:00 ~ 9:15 審判・監督会議
9:20 ~ 開会式

2. 会 場 和歌山県立武道館(和歌山市和歌浦西2-1-22)

3. 役 員

競技専門部長	中山 眞弘(東)	同副部長	竹内 伸行(楠見)
競技専門委員長	喜多 晃嗣(西脇)	同副委員長	江田 太郎(日進)
総務委員長	山口 雅矢(紀伊)	同副委員長	松本 茜(東和)
審判長	森下 博友(東和)	副審判長	澤本 貴久(日進)
審判員 ・ 大会役員	澤本 貴久(日進) 江田 太郎(日進) 山口 雅矢(紀伊) 喜多 晃嗣(西脇) 三田 真司(近大) 田川 大祐(河西) 森下 博友(東和) 松本 茜(東和) 岡部 江利(明和) 中村 太紀(河北) 岡田 眞(西脇) 岡室 久志(西和) 岩本 貴裕(西浜) 辻村 悟(明和) 嶋田 悠樹(河西)		
記録員	中平 弓子(東) 出口 千晴(河北)		
救護	堺 亜紀子(桐蔭) 新谷 泉衣(紀伊)		

4. 参加資格

- (1) 参加者は、和歌山県中学校体育連盟に盟の中学校在籍し、当該学校長が参加を認めた個人とする。
- (2) 年齢は、平成19年4月2日以降に生まれた生徒に限る。
- (3) 個人情報の取り扱い

取得する個人情報については大会参加の要件とする。ただし、本連盟は、個人情報保護に関する法令を遵守し、和歌山県中学校体育連盟 個人情報保護方針に基づき、取得する個人情報について適正に取り扱う。取得した個人情報は、競技大会の資格審査・競技大会運営上必要なプログラム編成及び作成、大会結果掲載(ホームページ・大会記録集・報道機関への提供等)、その他競技運営及び競技に必要な連絡等に利用するので理解すること。

5. 引率者・監督

- (1) 参加生徒の引率者及び監督は、当該校の校長・教員であること。
- (2) 審判員に準じた服装をすること。

6. コーチ

コーチの参加を承認する。〔コーチとは、当該校の監督でない教職員(内部コーチ)・それ以外(外部コーチ)とする。〕

◎コーチの条件とは、次の通りである。

- ① 当該校の校長が認めた者。
- ② 年間を通じ、日頃から学校の部活動を指導している者。
- ③ 中体連の大会運営に関して、理解を示し、協力的な者。
- ④ 外部コーチは、中学校の教職員でないこと。
- ⑤ 審判員に準じた服装をすること。

※大会運営上支障をきたすと大会本部が判断した場合は、会場より退場をさせることもある。

7. 参加制限

個人戦は、男子8階級、女子8階級

- ① 選手には、監督1名が付き添うこと。
- ② 体重区分は、次の通りとする。

(ア) 男子50kg級(50kg以下)

55kg級(50kg超～55kg以下)
60kg級(55kg超～60kg以下)
66kg級(60kg超～66kg以下)
73kg級(66kg超～73kg以下)
81kg級(73kg超～81kg以下)
90kg級(81kg超～90kg以下)
90kg超級(90kg超)

(イ) 女子40kg級(40kg以下)

44kg級(40kg超～44kg以下)
48kg級(44kg超～48kg以下)
52kg級(48kg超～52kg以下)
57kg級(52kg超～57kg以下)
63kg級(57kg超～63kg以下)
70kg級(63kg超～70kg以下)
70kg超級(70kg超)

8. 競技規則

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定・「少年大会申し合わせ事項」等による。
- (2) 優勢勝ちの判定基準は次のとおりとする。
個人戦は「技有」以上とする。得点差がない場合は延長戦(ゴールデンスコア)・旗判定により勝敗を決する。
- (3) 試合時間は3分間とする。延長戦(ゴールデンスコア)は2分間とし、それを超えた場合は旗判定を行う。
- (4) 柔道着は白色とする。
- (5) 財) 講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。

9. 計量・柔道衣点検

(1) 【計量】

- ① 出場選手は、公式計量の指定時間内に計量を行うこと。
- ② 公式計量の指定時間内であれば、再計量を認める。
- ③ 公式計量の服装は、男子は下穿き、女子はTシャツと下穿きの着用を認める。
なお、下着の着用は認めるが、包帯サポーター等の着用は一切認めない。
定められた階級の体重区分内でない者は失格とする。
※ 別室計量が必要なものはあらかじめ申し出ること。

(2) 【柔道衣点検】

- ① 公式計量に引き続き服装検査を行う。
- ② 柔道衣に必ずゼッケン(学校名・名字入り)を縫い付けて出場すること。
(ア) 布地は白(晒・太綾) サイズは、横30cm～35cm、縦25cm～30cm
(イ) 名字(姓)は上側2/3、学校名は下側1/3
(ウ) 基本書体は太字ゴシック体とするが、明朝または楷書でも可とする。
男子は黒色、女子は濃い赤色。
(エ) 縫い付け場所は襟から5cm～10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。
- ③ 女子は、上衣の下に白色又は白に近い色の半袖で無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。
- ④ Tシャツのマーキングについては、全日本柔道連盟が定める規定(平成25年4月1日より施行)に準ずる。
- ⑤ 柔道衣コントロールの際は、試合時に着けるサポーター等を着用して受けること。
- ⑥ 胸マーキング等について、道場名等は不可とする。

10. 競技方法

個人戦は男女とも各階級トーナメント方式で行う。

[出場者が少ない階級は、リーグ方式で行う場合もある。]

1 1. その他

- (1) 個人戦は、各階級とも1・2位の選手が、県大会に出場できる。
- (2) 大会期間中の負傷・疾病等については、応急手当のみ行う。
 - ① 参加者は、健康保険証(コピー可)を持参することが望ましい。
 - (ア) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし、選手の皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
 - (イ) 脳震盪対応について選手及び指導者は下記事項を遵守する。
 - a 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - b 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
※至急専門医の精査をうけること。
 - c 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - d 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- (3) 本大会では、部旗・応援旗の掲示は、大会運営に支障がないもので、壁に傷等がつかないような固定ができるものとする。
- (4) 大会期間中、健康上の理由等で監督の変更が必要とされる場合、大会事務局に申し出ること。
- (5) その他、諸問題が生じた場合は、審議し決定する。

1 2. 新型コロナウイルス感染症対策について

本大会は無観客試合とし、会場には選手・役員・監督・コーチ・補助員以外の入場は認めない。また、参加者全員に承諾書、体温・体調チェックシートの提出を義務付けることとする。

併せて、別紙「2020和歌山市中学校柔道大会 新型コロナウイルス感染症対策に係る大会実施ガイドライン」に沿って大会を運営・実施する。